

図書だより

〈第6号〉

昭和57年 4月15日

呉工業高等専門学校
図書委員会



アンケート特集号

まえがき

図書主任 久保田 勲

技術革新の波をうけて急速に変わって行く現代社会の中で、高専生の気風も物の考え方も当然変わっていくのではないか。昭和43年に図書館についてのアンケート調査が行なわれたが、当時の集計結果が果して現在の高専生にも期待できるだろうか。もし変わっているとすれば、図書館のあり方も当然それに応じて考える必要があろう。

この考えのもとに図書委員会は再度アンケート調査を行なうこととし、56年7月中旬に実施した。今回ようやくその整理が終ったので、アンケート特集号として図書だより第6号を発行します。従来とちがって、文章も硬く、少し読みづらいかも知れないけれども、是非すみずみまで読んで、自分の学年の、あるいは自分の学科の読書レベルを認識し、また振り返って自分自身どういう読書をやるべきかを考えてもらいたいと思います。

§1 アンケートの内容及び調査要領

アンケート用紙を表1に示す。これを全学生に配布した。回収数は学生総数757名に対し717名で、回収率は94.7%であった。集計は学年別および学科別とし、学科は機械工学科をM、電気工学科をE、土木工学科をC、建築学科をAで表示して処理し、学年間の比較、学科間の比較、及び前回アンケート結果との比較に重点を置いて検討した。特に今回の調査が、単に調査しただけという結果に終わらないで、これをもとにしてできるだけ今後の図書館の運営に役立ち、また学生の読書の指針となる結論を引き出すように努力した。

以下に掲げる諸表の中で、「前回」の欄のないものは、今回新に追加した設問である。

表1 アンケート用紙

(回答欄の該当項目を○で囲んで下さい)

1	あなたの学科学年は?	M	E	C	A	1年	2年	3年	4年	5年
2	図書館へ一週間に何日ぐらい行きますか。	A.ほとんど行かない B.1日 C.2日 D.3日 E.4日以上								
3	図書館へ行くのはおもに次のどの時間ですか。	1. 休憩時間 2. 昼休み 3. 放課後 4. 休講の時間 5. 授業時間								
4	図書館を利用するのは、おもに次のどの目的のためですか。(○印は2項目にわたってもよい)	1. そこで本を読むため 2. 帯出手続のため 3. 新聞雑誌閲覧のため 4. 教科科目学習のため 5. 談話会合のため 6. 特に目的なくぶらりと								
5	一週平均どれ位室外帯出をおこなっていますか。	A.ほとんどない B.1回 C.2回 D.3回以上								
6	図書館で利用するおもなものは、右の分類番号のどれですか。(○印は2項目にわたってもよい)	0. 年鑑・事典 1. 哲学・倫理・宗教 2. 地理・歴史・伝記 3. 政治・社会・経済 4. 数学・物理・化学 5. 工学・技術 6. 産業 7. 芸術 (音楽・美術) 8. 語学 9. 文学 10. その他								
7	校外の公立図書館を利用していますか。	1. よく利用する 2. ときどき利用する 3. まれに利用する 4. 全然利用しない								
8	校外図書館を利用する理由は、主に次のどの項目にあたりますか。(○印は2項目にわたってもよい)	本校の図書館は1. 分類項目によっては全くないものがある 2. 同じ分類項目のものでもその冊数が少ない 3. 程度の高すぎる本が多い 4. 程度の低すぎる本が多い 5. 文学や教養書が少ない 6. 特殊な関心を満す本が少ない 7. 基礎学習的な実用性の多い本が少ない 8. その他								
9	図書館で読む本を選ぶのは、次の項目のうちどれが基準になりますか。	1. 教官の指導や推せんで 2. 自分自身の興味や関心から 3. 書評を読んで 4. 友人の推せんまたは級友がよく読んでいるから 5. 課題(宿題)解決のため 6. その他								
10	(1) 図書館の目録カードは利用しますか。 (2) 閉架の図書を利用したことがありますか。	1. よく利用する 2. 時々利用する 3. 利用はするが結局は開架のものを中心に選ぶ 4. ほとんど利用しない 1. はい 2. いいえ								
11	読みたい本、又は買ってほしい本は右の分類番号のどれですか。(○印は2項目にわたってもよい)	1. 学習参考書 2. 文科系一般教養書 3. 理科系一般教養書 4. 工学専門書 5. 工学以外の専門書 6. 文学作品(小説類) 7. 写真・画集 8. 趣味・娯楽的なもの								
12	図書費に毎月どれ位あてていますか	A.ほとんど購入しない B.1,000円以下 C.1,000～2,000円 D.2,000～4,000円 E.4,000円以上								
13	教科のための一般科目参考書または専門書(教科書を除く)を年間平均何冊位購入していますか。	一般科目: A.買わない B.1～2冊 C.3～5冊 D.6冊以上 専門科目: A.買わない B.1～2冊 C.3～5冊 D.6冊以上								
14	1日に平均何時間位読書にあてていますか。	A.30分以内 B.1時間 C.1～2時間 D.2時間以上								
15	図書館の施設・設備をどう思いますか。 ⁽¹⁾	1. 満足 2. 普通 3. 不満 4. わからない								
16	図書館の雑誌を読みますか。 ⁽²⁾	1. よく読む 2. 時々読む 3. まれに読む 4. 全然読まない								
17	図書館の雑誌の種類は現状でよいでしょうか。	1. 多すぎる 2. 現状でよい 3. 少なすぎる 4. わからない								
18	H・Rに配る「新着図書速報」は読みますか。	1. 全然読まない 2. 時々読む 3. よく読む								
19	H・Rに配る「図書だより」は読みますか。 ⁽³⁾	1. 全然読まない 2. 時々読む 3. よく読む								
(1) 図書館の施設・設備に対する要望 (2) よく読む雑誌名あるいは購入希望雑誌名 (3) 図書だよりについての提案										
(4) その他自由な意見を、下欄に具体的に書いて下さい。										

§ 2 集計結果および考察

アンケート回答を設問順に集計した結果は次のとおりである。文中（ ）内の数字は前回のアンケートの数字を示す。また表の（ a ）は学科別を、（ b ）は学年別を示し、表中の数字は%を表す。

設問 2. 週何日図書館へ行くか

表 2 -(a)

	0	1日	2日	3日	4日以上	無回答	計
M	48.2	24.1	14.1	4.7	8.4	0.5	100
E	31.7	24.7	20.4	15.1	8.1	0	100
C	51.4	21.4	13.3	6.9	6.9	0.1	100
A	35.9	23.4	15.0	12.6	11.4	1.7	100
全科	41.8	23.4	15.8	9.8	8.6	0.6	100

表 2 -(b)

	0	1日	2日	3日	4日以上	無回答	計
1	47.2	25.2	13.8	6.9	5.7	1.2	100
2	43.2	21.2	13.7	9.6	12.3	0	100
3	46.9	23.8	15.6	9.5	3.4	0.8	100
4	44.1	25.0	13.2	7.4	10.3	0	100
5	25.6	21.7	23.3	16.7	12.4	0.3	100
全校	41.8	23.4	15.8	9.8	8.6	0.6	100
前回	15.7	22.3	23.8	21.1	15.7	1.2	100

殆ど行かないと回答した学生が、全学生数の41.8%で、前回調査時の15.7%に比べて激増している。表7の公立図書館利用度が別に増加していないところから見ると、本校図書館の内容が原因ではなく、学生自身の読書意欲の減退に基づくものとしか考えられない。何故読書意欲が減退したのか、意欲向上にはどうすればよいか、大きい問題であろう。

学年別では、5年生の利用度が他学年に比して圧倒的に高い。表6の利用図書の項を見ると、5年生は「工・技図書」が非常に多いことから見ても、専門科目や卒研などの学習に追われるためであろうか。

学科別ではE・A科に比してM・C科の学生の図書館利用度が少ないようである。特に1週間に2日以上図書館へ行く学生数の差が大きい。

設問 3. 図書館へ行く時間

表 3 -(a)

	休憩時	昼休	放課後	休講	授業	無回答	計
M	4.0	50.0	33.0	5.5	4.5	3.0	100
E	3.4	47.6	35.9	10.7	1.0	1.4	100
C	3.5	53.8	27.2	8.1	4.6	2.8	100
A	3.5	47.4	20.3	8.9	16.7	3.2	100
全科	3.6	49.5	29.3	8.3	6.6	2.7	100

表 3 -(b)

	休憩時	昼休	放課後	休講	授業	無回答	計
1	1.2	53.7	31.7	7.3	2.4	3.7	100
2	3.8	55.3	30.8	5.7	3.8	0.6	100
3	5.7	47.8	35.7	4.5	3.2	3.1	100
4	5.6	53.5	20.1	9.7	7.6	3.5	100
5	2.0	36.7	27.2	15.0	17.0	2.1	100
全校	3.6	49.5	29.3	8.3	6.6	2.7	100
前回	6.1	50.2	32.8	6.9	2.7	1.3	100

昼休みの利用が49.5% (50.2%) と圧倒的に多い。昼食後の僅かな時間をどう利用しているかが問題であるが、表4の利用目的の集計結果を見ると、「読書」と「学習」が多く、傾向としては好ましい。図書館職員に聞いてみても、やはり「読書」「学習」「帯出」が主だという。

放課後の利用は29.3%で、前回の32.8%と大きい差は認められない。高専のカリキュラムやクラブ活動時間な

どを考えると、どうしてもこの程度になるのであろうか。ただカリキュラムがより過密であった前回よりも利用度が減っていることから考えると、カリキュラムのせいとも言い難い。

土曜の午後は3時まで開館時間を延ばしているが、図書館職員に聞くと、試験前には若干利用者が増えるが、平常は約10名前後ということで、開館時間を更に延長しても利用者が増すとは期待されない。

「授業時間中」の利用者は、学年別では5年生が17%で、他学年の平均4.25%に比して約4倍、学科別ではA科が他学科の平均3.2%に対して16.7%で約5倍、と高くなっているのは、5Aの学生が卒業設計などの時間に図書館を利用するためか。

設問4. 利用の目的

表4-(a)

	読書	帯出	新聞誌	学習	談話	ぶらり	無回答	計
M	22.4	20.0	10.4	29.5	1.7	13.3	2.7	100
E	21.7	17.3	9.8	34.6	2.8	13.0	0.8	100
C	23.3	10.5	11.9	22.4	3.7	27.9	0.3	100
A	22.2	8.9	15.6	25.8	4.4	20.9	2.2	100
全科	22.4	14.9	11.8	28.3	3.1	18.4	1.1	100

表4-(b)

	読書	帯出	新聞誌	学習	談話	ぶらり	無回答	計
1	22.0	5.4	11.2	36.6	3.4	19.5	1.9	100
2	25.4	13.2	8.5	22.2	4.2	25.9	0.6	100
3	21.1	21.1	13.4	25.3	2.1	16.0	1.0	100
4	20.1	17.3	15.1	27.9	2.2	16.2	1.2	100
5	23.3	18.6	11.0	29.1	3.5	14.0	0.5	100
全校	22.4	14.9	11.8	28.3	3.1	18.4	1.1	100
前回	25.7	41.3	15.2	8.4	1.8	6.4	1.2	100

「読書」「帯出」「学習」の合計が65.9%で、前回の75.4%より約10%減っているが、この内訳を見ると、「帯出」が41.3%から14.9%に激減した反面、「学習」は8.4%から28.6%に激増している。寮や家庭でじっくりと時間をかけて学習する気風から、図書館で安易に短時間に学習する気風への変化を表わしていると思われる。

仮にこの見方がなり立つとすれば、学科別集計表の示す「帯出」の数字が、M・E科合計37.3%に対しA・C科合計19.4%と、前者が後者の約2倍となっているのは、M・E科と、A・C科との学科の個性の差とも考えられる。

「ぶらりと」が6.4%から18.4%へと約3倍の増加であるが、内容は判らない。設問が適切でなかったようだ。なお「ぶらりと」は低学年(1~2年生)が高学年(3~5年生)より多い傾向があり、学科別ではC・A科がM・E科の約2倍となっている。

新聞・雑誌は11.8%(15.2%)の学生が利用している。意外に少ない感じがする。学年・学科別には大差はない。

設問5. 週何回帯出するか

表5-(a)

	0	1回	2回	3回以上	無回答	計
M	73.3	18.3	2.1	1.1	5.2	100
E	65.1	25.3	5.4	1.6	2.6	100
C	79.8	12.7	0.6	1.2	5.7	100
A	80.8	12.6	3.0	0.6	3.0	100
全科	74.5	17.4	2.8	1.1	4.2	100

表5-(b)

	0	1回	2回	3回以上	無回答	計
1	86.2	7.5	0.6	0	5.7	100
2	76.7	15.8	2.1	1.4	4.0	100
3	68.7	21.8	2.7	2.7	4.1	100
4	78.7	15.4	1.5	0.1	4.3	100
5	59.7	28.7	7.8	0.1	3.7	100
全校	74.5	17.4	2.8	1.1	4.2	100
前回	40.3	41.4	7.3	3.1	7.9	100

無帯出が前回の40.3%から74.5%と激増している。学生の図書館離れを物語っていると考えるとよいのではない。今後充分に検討しなければいけない問題であろう。

毎週1回以上帯出する学生は、学年別では1～4年の平均22.4%に対して5年生が40.3%と多く、学科別では他学科平均23%に対してE科が34.9%と比較的多い。5年生の帯出率の高いのは、やはり専門科目と卒研の勉強のためと思われる。

設問6. 利用する図書

「工・技図書」が36.3%と圧倒的に多く、学年別では、1年生の12.8%から5年生の58.1%まで、高学年になるにしたがって「工・技図書」を読む学生が増えるが、これはカリキュラムの関係から考えても自然であろう。学科別ではMおよびE科がそれぞれ約46%と「工・技図書」の利用度が高いのに対し、C科は18.7%と極めて低く、A科は32.4%とほぼ中間を占めている。

「年鑑・事典」及び「地・歴・伝」は1年生が圧倒的に多いのは、カリキュラムとの関係であろう。

学科別では、「地・歴・伝」を読む学生が、C科が17.6%で、他学科の平均6.73%の約3倍と高いのは、土木という学科の特色にもとづくものであろうか。

「語学」の利用は最も低く、わずか0.6%で、前回の1.5%よりも更に激減している。中でも学年別では1年生、学科別ではA科は利用率ゼロで、語学図書を全然読んでいない。高専生の語学コンプレックスが目に見えるようで、何とかしなければと痛切に感じさせられる。

前回の調査では、「工・技書」をのいので「文学書」が32.7%と利用図書の首位を占めていたが、今回は11.2%と激減している。「工・技書」の利用の増加は結構だが、やはり教養面での「文学書」の利用時間も減らさないだけの余裕を持ってほしい。学年別では、2年生が比較的「文学書」の利用が多く、学科別ではA科が最も多い。

表6-(a)

	年かん 事典	倫哲宗	地歴伝	政経社	数物化	工技	産業	芸術	語学	文学	その他	無回答	計
M	10.4	1.2	8.8	1.6	10.7	45.8	0.8	0.4	0.8	8.0	9.6	1.9	100
E	7.2	1.1	4.3	1.1	14.1	46.0	0	2.2	1.1	9.8	10.9	2.2	100
C	12.0	1.3	17.6	3.4	8.5	18.7	1.7	2.6	0.4	11.1	19.1	3.6	100
A	2.7	1.3	7.1	0.9	9.7	32.4	1.3	4.4	0	16.4	17.7	6.1	100
全科	8.1	1.2	9.3	1.7	10.9	36.3	0.9	2.2	0.6	11.2	14.1	3.5	100

表6-(b)

	年かん 事典	倫哲宗	地歴伝	政経社	数物化	工技	産業	芸術	語学	文学	その他	無回答	計
1	17.4	0.9	25.6	0.5	13.2	12.8	0.5	3.2	0	10.5	11.9	3.5	100
2	9.4	0.5	6.6	0.5	23.5	21.6	1.9	2.8	0.9	17.4	12.7	2.2	100
3	7.0	1.4	7.0	1.4	8.0	42.7	1.4	1.9	0.9	8.0	17.4	2.9	100
4	1.8	1.2	3.6	4.7	4.1	55.0	0	2.4	0.1	10.1	10.1	6.9	100
5	2.3	2.3	0.1	2.3	2.3	58.1	0.1	0.1	0.1	9.3	18.6	4.4	100
全校	8.1	1.2	9.3	1.7	10.9	36.3	0.9	2.2	0.6	11.2	14.1	3.5	100
前回	6.7	5.6	1.7	3.8	10.6	28.1	0.6	4.6	1.5	32.7	0	4.1	100



設問7. 公立図書館の利用

表7-(a)

	よく	時々	稀に	全然	無回答	計
M	2.1	5.8	19.4	70.2	2.5	100
E	4.3	8.1	16.7	71.0	0	100
C	5.7	6.4	25.4	62.4	0.1	100
A	1.8	7.2	28.7	61.7	0.6	100
全科	3.5	6.8	22.3	66.5	0.9	100

表7-(b)

	よく	時々	稀に	全然	無回答	計
1	2.5	5.0	18.2	73.0	1.3	100
2	2.7	6.2	30.8	60.3	0	100
3	3.4	10.9	20.4	63.9	1.4	100
4	3.7	6.6	16.9	72.1	0.7	100
5	5.4	5.4	25.6	62.8	0.8	100
全校	3.5	6.8	22.3	66.5	0.9	100
前回	5.6	10.0	27.6	54.2	2.6	100

全然利用しない者が66.5%、まれにしか利用しない者が22.3%で、両者の合計は88.8%となり、前回の81.8%よりも増加しており、ほとんどの学生が高専図書館を利用している。図書館運営の重要性を痛感させられる。

設問8. 校外図書館利用の理由

表8-(a)

	全くな いもの あり	冊数が 少ない	程度が 高すぎる	程度が 低すぎる	文学・ 教養書 が少ない	特殊な ものが ない	基礎学 習書が 少ない	その他	無回答	計
M	7.0	2.5	2.0	0.5	3.5	3.5	3.0	18.0	60.0	100
E	5.6	4.5	0	0.5	5.1	11.1	2.5	12.6	58.1	100
C	6.2	5.2	3.1	0	3.1	11.9	3.6	22.8	44.1	100
A	8.2	7.6	1.6	0	3.8	7.6	3.8	16.8	50.6	100
全科	6.7	4.9	1.7	0.3	3.9	8.5	3.2	17.5	53.3	100

本校図書館に「特殊な図書がない」「その他」の理由が計26%となっているが、具体的な内容は判らない。しかし高専図書館は必ずしも校外図書館と同じ性格である必要はないであろう。

表8-(b)

	全くな いもの あり	冊数が 少ない	程度が 高すぎる	程度が 低すぎる	文学・ 教養書 が少ない	特殊な ものが ない	基礎学 習書が 少ない	その他	無回答	計
1	4.8	1.8	2.4	0	3.6	10.2	2.8	15.0	59.4	100
2	4.4	6.3	1.3	0.6	2.5	10.1	3.2	22.2	49.4	100
3	6.4	3.2	0.6	0.6	5.1	11.5	4.5	17.8	50.3	100
4	9.3	4.7	3.3	0	2.0	6.7	3.3	16.0	54.7	100
5	9.1	9.1	0.1	0	6.3	3.5	3.5	16.8	51.6	100
全校	6.7	4.9	1.7	0.3	3.9	8.5	3.2	17.5	53.3	100
前回	12.6	11.7	1.8	2.3	7.2	7.6	1.8	10.3	44.7	100



設問9. 選書の基準

表9-(a)

	教官	興味	書評	友人	宿題	その他	無回答	計
M	1.4	33.6	0.9	1.4	59.2	1.4	2.1	100
E	0.5	39.1	0.5	0	55.5	3.2	1.2	100
C	1.2	56.1	0	0.6	31.2	8.1	2.8	100
A	1.6	52.7	0.5	0.5	37.2	4.8	2.7	100
全科	1.1	44.6	0.5	0.6	46.8	4.2	2.2	100

表9-(b)

	教官	興味	書評	友人	宿題	その他	無回答	計
1	1.8	40.2	0.6	1.2	52.1	1.8	2.3	100
2	0.6	54.0	0.6	0	39.9	4.3	0.6	100
3	1.3	40.6	0.6	0	50.6	4.4	2.5	100
4	1.3	41.9	0	1.3	46.5	5.2	3.8	100
5	0.1	46.2	0.1	0.1	44.8	5.5	3.2	100
全校	1.1	44.6	0.5	0.6	46.8	4.2	2.2	100
前回	1.3	78.9	1.9	1.5	11.5	2.3	2.6	100

「本人の興味」及び「宿題」が計91.4%で、前回の90.4%とほとんど差がないが、このうち「宿題」が46.8%で、これは前回の11.5%に比べると約4倍に増えているのに、「興味」は前回の78.9%から44.6%と半減している。これは表4で、利用目的として「学習」が最も多いのと同じ傾向であり、学生生活における余裕がなくなったことを示しているようだ。「宿題」の%が、高学年と低学年で大差がなく、また表4の「学習」の%と傾向が似ていることから、「学習」の実態は「宿題解決のため」とも考えられ、教官としてもこの際、宿題のあり方を再検討する必要があるのではないかと。

学科別ではM・E科が「宿題」が多くて「興味」が少なく、C・A科では逆の傾向を示している。

「教官」や「友人」や「書評」を基準に選書する学生は極めて少ない。この点、今後、図書だよりに含めて全学生に配布される「新着図書案内」がどれだけ活用されるか、期待したい。

表10-1-(b)

設問10. 目録カード・閉架図書の利用

表10-1-(a)

	よく	時々	開架	ほとんど	無回答	計
M	3.7	11.5	7.3	74.3	3.2	100
E	1.1	9.7	7.5	79.6	2.1	100
C	1.7	7.5	2.3	88.4	0.1	100
A	1.2	10.2	7.8	78.4	2.4	100
全科	2.0	10.0	6.4	80.1	1.5	100

	よく	時々	開架	ほとんど	無回答	計
1	1.3	5.7	3.8	85.6	3.6	100
2	4.1	9.6	8.9	76.7	0.7	100
3	2.0	8.8	4.8	83.7	0.7	100
4	1.5	8.1	5.9	83.1	1.4	100
5	0.1	17.8	8.5	69.8	3.8	100
全校	2.0	10.0	6.4	80.1	1.5	100
前回	3.2	12.3	21.6	54.2	8.7	100

表10-2-(a)

	はい	いいえ	無回答	計
M	13.1	77.5	9.4	100
E	8.6	86.6	4.8	100
C	11.6	82.7	5.7	100
A	10.2	84.4	5.4	100
全科	10.9	82.7	6.4	100

表10-2-(b)

	はい	いいえ	無回答	計
1	8.8	82.4	8.8	100
2	15.8	80.1	4.1	100
3	7.5	90.5	2.0	100
4	5.9	87.5	6.6	100
5	17.1	72.1	10.8	100
全校	10.9	82.7	6.4	100
前回	26.8	62.7	10.5	100

目録カードは80.1% (54.2%)、閉架図書は82.7% (62.7%) と、ほとんどの学生が利用していないし、いずれも前回に比べて利用しない学生が増えている。これによって図書館利用法の良否を論ずることはできないと思うが、カード及び閉架図書の利用方法を知らない学生が少くないためとも考えられる。

設問11. 読みたい本の種類

表 11 -(a)

	参考書	文・ 教養	理・ 教養	工・ 専門	工外 専門	文学	写画集	趣味	無回答	計
M	5.0	3.3	7.0	14.0	2.7	13.3	9.7	41.3	3.7	100
E	3.3	1.3	5.9	17.4	6.2	18.7	9.2	36.7	1.3	100
C	9.3	3.9	2.7	5.8	1.9	21.4	11.2	42.0	1.8	100
A	3.1	2.7	3.5	16.5	3.5	16.1	13.3	38.8	2.5	100
全科	5.1	2.8	4.9	13.6	3.7	17.3	10.7	39.7	2.2	100

表 11 -(b)

	参考書	文・ 教養	理・ 教養	工・ 専門	工外 専門	文学	写画集	趣味	無回答	計
1	10.3	3.1	6.1	7.6	2.3	15.3	11.1	43.1	1.1	100
2	6.4	1.7	6.4	9.4	4.3	19.7	9.9	40.3	1.9	100
3	2.6	3.1	3.9	14.4	3.9	16.2	14.0	39.3	2.6	100
4	0.1	2.5	3.9	15.7	3.4	18.6	10.3	43.1	2.4	100
5	4.2	3.7	3.7	23.8	4.8	16.9	7.9	30.7	4.3	100
全校	5.1	2.8	4.9	13.6	3.7	17.3	10.7	39.7	2.2	100
前回	5.4	7.5	7.5	20.6	4.0	36.9	3.5	11.0	4.4	100

「趣味」が39.7%で前回の11%に比べて約4倍、「写画集」が10.7%で前回の3.5% に比して約3倍と増えている。つまり趣味的な、写画集的な肩の凝らない図書を読みたがっている学生が、全学生の約半数を占めているわけで、図書委員会としても、図書充実面で考慮すべきであろう。この傾向は学年別でも、学科でも大差はないが、5年生になると若干希望が減っている。卒研や製図で多忙となるためであろう。

「文学」は、前回の調査では36.9%と圧倒的に多かったのが、今回は17.3%と減り、趣味関係の図書に首位をゆずっている。これは呉高専生に限らず、一般的な傾向ではないか、という気もする。



設問12. 月当りの図書費

表 12 -(a)

	0円	1000 以下	1000~ 2000	2000~ 4000	4000 以上	無回答	計
M	29.3	34.6	19.9	7.3	4.2	4.7	100
E	13.4	35.5	32.8	14.0	4.3	0	100
C	26.0	38.7	24.3	9.8	1.2	0	100
A	25.1	36.5	31.1	6.0	0.6	0.7	100
全科	23.4	36.3	26.9	9.3	2.6	1.5	100

表 12 -(b)

	0円	1000 以下	1000~ 2000	2000~ 4000	4000 以上	無回答	計
1	26.4	42.1	23.3	6.3	1.9	0	100
2	25.3	34.9	27.4	9.6	0.7	2.1	100
3	21.1	40.8	23.1	10.2	4.1	0.7	100
4	22.8	34.6	28.7	8.8	3.7	1.4	100
5	20.9	27.1	33.3	12.4	3.1	3.2	100
全校	23.4	36.3	26.9	9.3	2.6	1.5	100

全く図書を買わない者が23.4%。2000円以内を図書購入にあてるものが63.2%で最も多く、学年別には差はないが、学科別ではE科が比較的図書をよく購入している。

設問13. 参考書の年当り購入冊数

表 13 - 1 -(a)

	0	1~2	3~5	6以上	無回答	計
M	42.8	35.1	14.4	5.2	2.5	100
E	40.3	31.2	19.9	6.5	2.1	100
C	42.2	34.7	19.7	1.7	1.7	100
A	30.5	42.5	23.4	2.4	1.2	100
全科	38.6	35.4	19.2	4.0	2.8	100

表 13 - 1 -(b)

	0	1~2	3~5	6以上	無回答	計
1	23.3	22.0	42.8	10.0	1.9	100
2	28.1	47.9	19.9	2.7	1.4	100
3	35.4	47.6	12.2	2.0	2.8	100
4	57.4	28.7	6.6	2.2	5.1	100
5	53.5	31.0	10.9	2.3	2.3	100
全校	38.6	35.4	19.2	4.0	2.8	100

表 13 - 2 -(a)

	0	1~2	3~5	6以上	無回答	計
M	45.5	36.1	6.8	1.6	10.0	100
E	43.0	31.7	11.8	7.5	6.0	100
C	56.6	26.0	7.5	0.6	9.3	100
A	38.3	32.9	13.8	3.6	11.4	100
全科	45.9	31.8	9.9	3.3	9.1	100

表 13 - 2 -(b)

	0	1~2	3~5	6以上	無回答	計
1	63.5	22.6	1.9	1.9	10.1	100
2	48.6	39.0	4.8	1.4	6.2	100
3	39.5	37.4	12.2	4.1	6.8	100
4	43.4	31.6	12.5	2.9	9.6	100
5	31.0	28.7	20.2	7.0	13.1	100
全校	45.9	31.8	9.9	3.3	9.1	100

一般参考書では38.6%、専門書では45.9%の学生が、1年間に1冊も購入しないで済ませている。しかも、購入している学生の大半が1年間に1~2冊しか購入しておらず、図書館利用率が少ない現状ではもっと購入冊数が多くて然るべきではないか。当然のことながら、高学年になるほど一般参考書の購入は減り、専門書の購入が増えている。

学科別では一般参考書はA科の学生が比較的購入冊数が多く、専門参考書はC科の学生が、他科に比して購入冊数が少ないという傾向がみられる。

設問14. 1日の読書時間

表 14 -(a)

	30分以下	1時間	1~2時間	2時間以上	無回答	計
M	66.5	17.3	7.3	3.1	5.8	100
E	58.6	27.4	5.9	4.8	3.3	100
C	67.6	19.1	6.9	5.2	1.2	100
A	72.5	19.2	4.2	3.0	1.1	100
全科	66.1	20.8	6.1	4.0	3.0	100

表 14 -(b)

	30分以下	1時間	1~2時間	2時間以上	無回答	計
1	78.0	16.3	2.5	1.9	1.3	100
2	63.0	22.6	10.3	2.7	1.4	100
3	63.3	21.8	5.4	5.4	4.1	100
4	59.6	23.5	7.4	5.2	4.3	100
5	65.1	20.2	5.4	5.4	5.9	100
全校	66.1	20.8	6.1	4.0	3	100

1日のうち、30分以下しか読書しない者が66.1%を占めているのには一驚した。特に1年生は78.0%と抜群に高いのは考えさせられる。高専入学早々で、なかなか読書の余裕が見出せないのであろうか。いずれにしても全学生の読書離れが甚しい。

学科別では、1時間以上読書にあてる学生は、E科が他科に較べて多い。

設問15. 設備・施設

表 15 -(a)

	満	普通	不満	分らぬ	無回答	計
M	12.0	51.8	21.5	12.0	2.7	100
E	8.1	60.2	22.6	8.1	1.0	100
C	14.5	45.1	22.5	17.3	0.6	100
A	12.6	47.3	29.9	9.6	0.6	100
全科	11.7	51.3	24.0	11.7	1.3	100

表 15 -(b)

	満	普通	不満	分らぬ	無回答	計
1	17.6	54.1	16.4	11.3	0.6	100
2	10.3	55.1	20.5	13.0	1.1	100
3	9.5	51.0	28.6	10.2	0.7	100
4	8.8	48.5	25.0	15.4	2.3	100
5	11.6	46.5	31.0	8.5	2.4	100
全校	11.7	51.3	24.0	11.7	1.3	100

63%の学生はまあまあ満足しているようである。不満が24%あるが、その内容は、設問20の意見によると、あまり注目すべきものはない。

設問16. 雑誌を読むか

表 16 -(a)

	よく	時々	稀に	全然	無回答	計
M	14.1	41.9	28.3	14.7	1.0	100
E	25.3	38.1	25.3	11.3	0	100
C	16.8	32.9	30.6	19.7	0	100
A	32.3	39.5	22.2	6.0	0	100
全科	21.9	38.2	26.6	13.0	0.3	100

表 16 -(b)

	よく	時々	稀に	全然	無回答	計
1	23.3	28.3	31.4	17.0	0	100
2	20.6	42.5	25.3	11.6	0	100
3	23.1	34.0	31.3	11.6	0	100
4	14.7	45.6	25.7	14.0	0	100
5	27.9	42.6	17.8	10.1	1.6	100
全校	21.9	38.2	26.6	13.0	0.3	100

87%の学生はとにかく読んでいる。特にA科は94%と、他科に比して利用する学生が多い。

設問17. 雑誌の種類の実状について

表 17 -(a)

	多すぎ	よい	少ない	分らぬ	無回答	計
M	1.0	24.6	55.5	17.3	1.6	100
E	4.8	28.5	54.8	11.3	0.6	100
C	0	20.2	61.3	17.3	0.2	100
A	0	22.8	59.9	17.4	0	100
全科	1.5	24.1	57.7	15.8	0.9	100

表 17 -(b)

	多すぎ	よい	少ない	分らぬ	無回答	計
1	5.7	30.8	49.7	13.8	0	100
2	0	26.0	56.9	17.1	0	100
3	0.7	21.1	63.9	13.6	0.7	100
4	0.1	15.4	61.0	19.9	3.5	100
5	0	26.4	58.1	14.7	0.8	100
全校	1.5	24.1	57.7	15.8	0.9	100

「少ない」と答えたものが57.7%で過半数を占め、学年・学科に大差はない。もっと増やす必要がある。

設問18・19新着図書速報・図書だよりは読むか

表 18 -(a)

	全然	時々	よく	無回答	計
M	64.9	29.8	4.2	1.1	100
E	55.4	38.7	5.4	0.5	100
C	63.6	35.8	0.6	0	100
A	64.7	31.7	2.4	1.2	100
全科	62.1	34.0	3.2	0.7	100

表 19 -(a)

	全然	時々	よく	無回答	計
M	62.3	30.4	6.3	1.0	100
E	54.3	37.6	8.1	0	100
C	65.9	30.6	2.9	0.6	100
A	64.7	30.5	3.6	1.2	100
全科	61.6	32.4	5.3	0.7	100

表 18 -(b)

	全然	時々	よく	無回答	計
1	73.6	23.3	1.9	1.2	100
2	56.2	40.4	2.7	0.7	100
3	55.8	37.4	6.1	0.7	100
4	61.0	36.0	2.9	0.1	100
5	62.8	34.1	2.3	0.8	100
全校	62.1	34.0	3.2	0.7	100

表 19 -(b)

	全然	時々	よく	無回答	計
1	73.6	21.4	3.8	1.2	100
2	63.7	32.9	3.4	0	100
3	52.4	38.8	7.5	1.3	100
4	56.6	36.0	7.4	0	100
5	60.5	34.1	4.7	0.7	100
全校	61.6	32.4	5.3	0.7	100

新着図書速報は62.1%の学生が、図書だよりは61.6%の学生が全然読んでいない。これは学科別には大差はない。(強いて言えばE科の学生が他学科よりも多少よく読んでいる)が、学年別に見ると、特に1年生が読んでおらず、73.6%という高い数字を示している。これは図書だよりを全員に配布をする以前の1年生へのPRの不徹底によるものと思われる。すでに第4号から読み易く印刷編集されたものが全員に配布されているので、これらの数字は大巾に変わるものと期待される。

設問20. 学生の意見

アンケート用紙の最後に、図書館に対する自由な意見や希望を書いてももらったが、整理すると次のような内容であった。

(1) 図書館の施設・設備に対する要望

図書室が狭い、少し暗い、インテリアに工夫せよ、冷房を十分にせよ、ロッカーを増やせなど、ごく小数の意見があった。

(2) 購入希望雑誌

スポーツ、音楽、科学雑誌のほか、自動車、カメラ、映画関係の雑誌の希望が多かった。

(3) その他の自由意見

雑談したりマナーの悪い者に注意を与えよ、図書の整理をきちんとせよ、返却期限を厳格に守らせよ、図書の保存をよくせよ、などであったが、これらは学生自身で互に解決すべき問題である。この外、コピー・サービスをしてほしいとの意見があった。

§ 3 アンケート結果に対する図書委員会の希望と対策

集計結果は以上の通りであるが、なおこれを総括してみると、一番大きい問題は「現在の呉高専の学生は本を読まない」ということであろう。すなわち、校内・校外を問わず図書館へ1週間に1度も足を運ばない学生が、全学生の41.8%も居ること、しかも10年前に較べるとその数が約2.5倍にも増えており、同時に図書を借り出して読む学生数は、約半に減少していること、さらに1日の平均読書時間は、僅か30分以下という学生が66.1%も居ること及び年間購入冊数の少ないこと、いずれも呉高専学生の読書離れを如実に示しており、嘆かわしいの一語

に尽きる。何故読まないのでしょうか。読書しない理由は何でしょうか。集計結果及び考察の項で述べたように、これは図書館の内容が原因ではなく、学生諸君の心構えの問題と思う。読書は学生にとって心の糧であり、学生と読書は切っても切り離すことのできないものであると考えて、読書に時間を割いてほしい。図書館をいくら充実させても、諸君がその図書を読まなければ何にもならない。社会へ出ると読書はできない、読書は学生の特権だと考えて、読書意欲をかき立ててもらいたい。特にM・C科の学生諸君はもっと図書館を利用してほしい。

図書館へ行く時間は必然的に昼休みと放課後となるが、重点は放課後に置くべきであろう。帯出して寮や家庭に持ち帰ってじっくりと読むことを考えてはどうか。「無帯出」が前回の40.3%から74.5%と激増しているが、帯出制度をもっと活用した方がよい。

クラブ活動が読書時間を制約しているとは考えられない。実質的に旺盛なクラブ活動をつづけている学生がどれ位あるか。前述の読書時間が1日僅か30分以下の学生や、図書館へ全然行かない41.8%の学生は、果してクラブ活動に汗を流している学生であろうか。学生諸君に充分に考えて貰いたい。授業時間も10年前よりは減っているし、読もうと思えば読書時間は案外容易に作り出せるはずである。

次に読書の実態であるが、現在図書館を利用している学生も、5年生は卒研や設計に追われ、4年生以下はレポートや宿題や一般学習に追われ、そのためにのみ図書館に行かざるを得ない、という状況が感じられる。工学書・技術書が多く読まれるのは喜ばしいことだが、それ以外の文学書・教養書も同時に読むだけの余裕を作してほしい。一般教養科目の少ない高専生には特に必要だと思う。工・技書が技術者の米の飯なら、文学書・教養書はビタミンで、どちらが欠けても人間的に豊かな技術者とはなり得ない。教官側としても、レポートや宿題の出し方について再検討する必要があるかも知れない。

語学関係の図書の利用者が僅か0.6%というのは、高専生の語学コンプレックスを明かに示している。外国語はこれからの技術者として絶対に必要で、今のままでは就職してから困るのではないかと不安である。委員会としてはこの対策として、技術英語、機械英語関係の図書を至急購入することにしたので、大いに利用してほしい。

目録カード・閉架図書の利用者は極めて少ないが、今度『図書館のしおり』の中にその利用法を詳しく書いて新入学生のオリエンテーションのときに、全員に配布することにした。

学生の「読みたい本」としては、趣味関係の図書を希望する学生が約半数もあり、これに対しては、すでに「図書だより」第5号で紹介したように、「カラーブックス」シリーズのほか、映画・スポーツ・音楽・SF・自動車などの月刊雑誌を購入している。

「雑誌の数が少ない」との意見に対しては、上記趣味雑誌のほかにも、文芸・評論・その他の分野で購入雑誌数を増やした。

『新着図書速報』は『新着図書案内』と呼び名を変えて、『図書だより』に含めて、第5号から全学生に配布することにした。また『図書だより』は活版印刷にして、年3回発行する予定であるから、全員で読んで読書意欲を盛り上げてほしい。

◆ 編集後記

図書だより第6号をアンケート特集号として発行でき、肩の荷を降ろした感じです。学生諸君、HR担任の先生方の協力を感謝します。

最近、各高専の図書館関係者の中で、図書館運営の在り方、学生の読書状況等について問題意識が高まり、改善策が検討されています。このアンケート調査が、今後の呉高専の図書館運営の改善や、学生の読書意欲の向上に役立つことを期待しております。

学生諸君は、このアンケート結果に触発され、今後の図書利用の充実や、読書環境の改善等に努力して下さい。このアンケートによれば各学科、学年間かなりの差があるようですが、お互い教官として考えさせれることが多いように思います。HR担任の先生方も折を見て学生に助言等をして戴けたら幸いです。

図書主任以下、図書委員が協力して行った調査・分析で、皆アンケート調査には素人ですので不十分な点もあるかと思いますが、大いに活用されることを願っております。

(兼本)

新着図書案内

>0 総記<

中国年鑑1982年版 中国新聞社
 朝日年鑑1982年版 朝日新聞社
 ソフトウェア工学基礎編 伊藤 貴康 丸 善
 ベーシック入門 共立出版
 インドシナからの報告 日本放送出版協会
 朝日選書 朝日新聞社

178：戦後演劇—新劇はのりこえられたか

菅 孝行

180：平家後抄(下) 角田 文衛

183：現代の土地神話 華山 謙

184：思い違いの科学史 板倉 聖宣(等)

185：日本の政治宗教 宮田 光雄

186：イタリア 三輪 福松

187：陪審裁判 青木英五郎

188：書書周遊 萩原 延壽

189：夜明け前の中国 陳 舜臣

190：自然観察者の手記(3)

岩田久二雄

191： (4)

192：近代日連論 丸山 照雄編

195：動物と自然保護 藤原 英司

196：改訂版 アメリカ フィッツジェラルド, F

叢書文化の現在

12：仕掛けとしての政治 岩 波

学問のすすめ 梅原 猛 角 川

知的生活の方法 渡辺 昇一 講 談 社

続・知的生活の方法 ()

きまぐれ読書メモ 星 新一 実 業 出 版

>1 哲学<

知的生活 ハマトン, P.G 講 談 社

世界の聖域 ()

1：聖都テーベ

7：アジャンター窟院

キリストとその教え 斉藤 勇 自由学園出版

聖書のイエスと現代の人間

滝沢 克己 三 一 書 房

心理学事典 新版 平 凡 社

人間はなぜ自殺するか 加藤 茂 勤 草 書 房

道は開ける カーネギー, D 創 元 社

おとぎ話における悪 フォン, フランク 人 文 書 院

おとぎ話における影 ()

創造への勇氣 ロロ, メイ 誠 信 書 房

>2 歴史<

神・墓・学者 増補新版 上・下

ツェーラム, C 中央公論社

ホモ・ルーデンス ホイジンガ, J 河 出 書 房

第二次世界大戦(目で見る戦史)

ライラー, A 新 評 論

大学教育 人文地理学 再訂版

青野 寿郎 森 北 出 版

郷土考古学叢書 吉川 弘文館

8：広島県の考古学

歴史の中の日本と朝鮮 林屋辰三郎(等) 講 談 社

中世日本文化の形成 桜井 好朗 東 京 大 学 出 版

安芸府中町史 1~3 府 中 町

ふるさとの思い出写真集 明治・大正・昭和

広島 田淵 実夫 図 書 刊 行 会

〃 東広島 飯田 米秋 〃

図説呉の歴史 金指 正三(編) 〃

わが町ひろしま航空写真集 広島 中国新聞社

ドイツ文化史 ヨーハン, E サイマル出版

岩波西洋人名辞典 増補版 岩 波

ロロロ伝記叢書 トーマス・マン 理 想 社

歴史のなかの女たち 高階 秀爾 文 芸 春 秋

角川日本地名大辞典 6：山形県 角 川

日本の街道 6：夢誘う山陽山陰 集 英 社

ヨーロッパ歴史紀行 堀米 康三 筑 摩

歴史と現代未来 トインビー, A 社 会 思 想 社

イラク歴史紀行 高橋 英彦 NHKブックス

謎の古代 京・近江 京都新聞社編 河 出 書 房

各駅停車 47：鹿児島県 南日本新聞社編 〃

戦国武将 勝機の決断 藤 公房 ダイヤモンド社

中世の風景 上・下 渡部 謹也編 中 公 新 書

アウシュヴィッツからの旅 鈴木 明 講 談 社

羽仁 進のアフリカ日記 羽仁 進 平 凡 社

トカラ海と人と 南日本新聞社 誠 文 堂

住んでみた北欧 武田 龍夫 サイマル出版

気まぐれ列車で出発進行 種村 直樹 実業之日本社

インド洋の小さな国 藤沢 高治 晶 文 社

インド片恋い イーデス・ハンソン 文 芸 春 秋

イスラム世界 勝藤・内記・岡崎 世 界 思 想 社

バグダッドの金曜画家 高橋 英彦 新 潮 社

秩父困民党 井出 孫六 講 談 社

呉鎮守府沿革誌 石踊 一則 あ き 書 房

模範村広村の由来 田村 信三

呉教育史 第二話 ()

地誌広町 拾遺編 ()

広村古文書の語らい 1~3 () 鹿 水 堂

呉海軍工廠造船部沿革誌 呉海軍工廠編 あ き 書 房

福山案内 児島 明久 葦陽文化研究会

>3 社会科学<

日本の昔話 未 来 社

1：とんと昔があったけど(1)

2： () (2)

3：すねこたんばこ(1)

4： () (2)

5：とんと一つあったてんがな

6：くったんじじいの話

7：手つきり姉さま

8：いきがポーンとさけた

9：秋田むがしこ(1)

10：半びのげな話

11: 候えばくばく	未 来 社	多変量解析法 改訂版	奥野 忠一(等)日 科 技 連
12: 秋田むがしこ(2)		ラングム変動の解析 増訂版	
13: むがす、むがす、あつとごぬ(1)			堀川 明 共 立 出 版
14: しゃみしゃつきり		グラフとダイグラフの理論	
15: きつちよむ話、和尚と小僧			ベザット, M(等) ♪
16: ほらと河童と雪女		近似理論入門	Cheney, E.W ♪
17: 昔まっこう猿まっこう(1)		数値解析1.	有本 卓 コ ロ ナ 社
18: ♪ (2)		基礎熱力学	ゼマンスキー, M.W ♪
マルクス・エンゲルス全集 補巻3		電子計算機による数値解析と算法入門	
	マルクス・カール 大月書店		コンテ, S.D ブレイン図書
日本経済事典	金森 久雄(等)日本経済新聞社	物理学原論 上・下	河合 紀雄(等)養 賢 堂
コンピュータによるグラフ理論の応用		金属および合金の超電導	ド・ジャンヌ, P.G ♪
	カクラ, V 共立出版	色の科学	金子 隆芳 みすず書房
日本統計年鑑 第31回(1981)	日本統計協会	化学暦	村上 技彦 ♪
住居は人権である	早川 和男 文新社	光の量子論	ラウドン, R 内田老鶴園新社
シリーズ食文化の発見 1~5		電磁界の近代解析法	飯島 泰蔵(等)電子通信学会
	加藤 秀俊(等)柴田書店	生活の界面科学	近藤 保 三 共 出 版
広島県の民謡	中国放送(編)中国放送	コロイド化学	浅岡 忠和 ♪
アイヌ民族文化史への試論		要説有機化学	高瀬慎一郎 ♪
	山川 力 未 来 社	化学領土の開拓者たち	植村 琢 朝 倉
成長する会社	田辺 昇一 東洋経済	物理化学 上・下	越山 季一 東京大学出版会
住みよい町づくり	谷藤正三・正典 森北出版	有機化学	大木 道則 ♪
沖縄物語	古波蔵保好 新潮社	図解分子の見方・考え方	吉弘 芳郎 オ ー ム 社
ドイツとの対話	伊藤 光彦 毎日新聞社	無機物理化学 上・下	千谷 利三 産 業 図 書
日本人にとっての朝鮮問題		超微量成分分析 1~4	浜口 博(等) ♪
	川越 敬三 大月書店	無機分析	♪ ♪
幸福先進国フランス	秋川 陽二 講談社	有機分析 増補版	津田 恭介(編) ♪
誰も書かなかったイタリア		基礎物理化学演習	白井 道雄 実 教 出 版
	町田 亘 サンケイ	反応論による有機化学	稲本 直樹 ♪
日本人に生まれてよかったか 上・下	講談社	コスモス(宇宙) 1~4	セーガン, カール 旺 文 社
思春期の悩み	詫摩 武俊 福村出版	現場技術者のためのやさしい地質学	
ヨーロッパの森から	谷口 幸男(等)日本放送出版		陶山 国男 築 地 書 館
男にとって女とは何か	依田 明 日本実業出版	日本の野生植物 1~3	佐竹 義輔(等)平 凡 社
新西洋事情	深田 祐介 講談社	天体観測図鑑	藤井 明 河 出 書 房
新入社員の会社入門	江口 恒男 中央経済社	宇宙から来た遺跡	南山 宏
世界の悪女たち	駒田 信二 文芸春秋	図学・問題集	東京大学工学教室 東京大学出版
キリマンジャロからのメッセージ		図学演習	田中・田嶋 廣 川 書 店
	三浦 雄郎 学習研究社	続 物理のおとし穴	タラソフ, タラソフ 東 京 図 書
国家よ謝罪を	安村 弘 三一書房	右と左の脳生理学	ブ ラ ウ ン ♪
不可触民	山際 素男 ♪	身近な力学	リシェフスキー ♪
崩壊結婚	帯・遠藤 ♪	頭のパズル	三橋 重男 ♪
楽しい統計学	谷 千風彦 東京図書	おもしろい化学元素	カレーリン ♪
		続 おもしろい化学元素	♪ ♪
		星の話 星から銀河へ	吉田正太郎 誠 文 堂 新 光 社
		相対性理論で宇宙をみる	堀 源一郎 日 本 放 送 出 版
		やさしい微分積分	梅沢 敏夫 培 風 館
		科学のおもちゃ箱	塩川・笠 東 京 図 書
		おもしろい生物学ABC	アキムシキン ♪
		おもしろい生命科学	ガラクチオノフ ♪
		おもしろい相対性理論	林 一 ♪
		おもしろいミクロとメガ	ペ レ ツ ♪
		おもしろい親と子の遺伝学	ルーチニク ♪
		マイコンでも電卓で遊べる計算ゲーム	
	チャーチル, R.V 吉岡書店	放射線生物学の話	シャガラジャニ ♪
線型代数と微積分からのベクトル解析入門		おもしろい遺伝学ABC	ヤルモネンコ ♪
	安藤 洋美 現代数学社		ルーチニク ♪

>4 自然科学<

化学者のための数学十講	大岩 正芳 化学同人		
数理論理学入門	入江 盛一 培風館		
複素解析学概説	藤本 淳夫 ♪		
無機化学 上・下	コットン, F ♪		
基礎無機化学	♪ ♪		
線形代数とその応用	ストラング, G 産業図書		
工科のための演習微積分	道脇 義正(等)東京図書		
工科のための微積分入門	♪ ♪		
応用のためのフーリ工級数と境界値問題(上)			
	チャーチル, R.V 吉岡書店		
線型代数と微積分からのベクトル解析入門			
	安藤 洋美 現代数学社		

おもしろい数学の冒険	リョーフシン	〃	福岡 正己	近代 図書
おもしろいDNA	フランケル	〃	構造力学演習 高岡 宣善	共立 出版
物理のおとし穴	タラソフ, タラソフ	〃	静定構造力学	〃
毒の文化史	杉山・山崎	講談社	エンジニアリング、サイエンス講座	〃
沖縄の自然	沖縄地学会	平凡社	29: エネルギー変換の工学	〃
アトランティス大陸の謎	金子 史朗	講談社	河川工学 第2版 安芸 皎一	〃
活断層	〃	〃	コンクリート・セミナー	〃
偽りの自然食品	郡司 篤孝	三一書房	4: コンクリート構造の限界状態設計法	〃
>5 工 学<				
電子工学要論	浮田 勇	国民科学社	電気・電子工学概論 藤本 三治	〃
電気・電子基礎数学		電気学会	騒音と振動のシステム計測	〃
ジョゼフソン効果(基礎と応用)		〃	北村 恒二	コロナ社
工業計測法ハンドブック	内藤 正(編)朝	倉	計測技術のための実験計画表	〃
土木計画数理	五十嵐日出夫(等)	〃	田口 玄一	〃
水力学	板谷 松樹	〃	シミュレーション技術 3: 有限要素法	〃
電子工学概論	黒部 貞一	〃	新編機械工学講座 17: 内燃機関	〃
大学課程 基礎製図学	下間 頼一(等)オ	ーム社	標準機械工学講座 18: 工作機械	〃
〃 橋梁工学第3版		〃	回転機械のつりあわせ 三輪 修三	〃
〃 橋梁設計例	菊池 洋一	〃	ストレイン・ゲージ Yarnell, J	〃
絵とき建築設備	吉村 武(等)	〃	電気・電子工学大系	〃
ヒートパイプとその応用	山西・清水	〃	25: 表面電子工学	〃
現代磁気工学	桜井 良文(等)	〃	20: レーザ工学	〃
デジタル信号処理の基礎		〃	電気回路 1・2 小澤 孝夫 昭 晃 堂	〃
初めて学ぶ人のための電子工学	前田 渡	〃	基礎高電圧工学 赤崎 正則	〃
	中山 章	〃	電子デバイス 1・2 古川静二郎	〃
実用めっきマニュアル	友野 理平	〃	回路のためのグラフ理論 梶谷 洋司	〃
わかりやすい水の力学	椎具 博美	鹿島出版会	電子工学要論 石井 正博	〃
空中写真の判読と利用	日本写真測量学会	〃	例題演習 水力学 笠原 英司 産業 図書	〃
交通調査マニュアル	高田 邦道(等)	〃	水力学演習 下坂 實(編)	〃
環境緑化における微気象の設計		〃	キャビテーション 加藤 洋治 慎 書店	〃
	新田 伸三(等)	〃	金属学のための統計熱力学	〃
建築の熱設計	小原 俊平	〃	コジェウ-ロフ, B. A	〃
SD選書 170: プルネッレスキ		〃	工学基礎演習シリーズ	森北 出版
新体系土木工学	土木学会(編)技	報 堂	1: フーリエ解析	〃
2: 確率・統計解析		〃	2: ベクトル解析	〃
26: 水文学		〃	3: 確率・統計・ランダム過程	〃
78-1: 土地造成 上		〃	4: 複素変数 1.	〃
78-2: 土地造成 下		〃	最新土木工学シリーズ 17: 最新河川工学	〃
土のはなし 1~3		〃	新鉄道工学 西亀 達夫	〃
骨材の採取と生産		〃	耐震構造 若林 實	〃
21世紀への育部論	渡部与四郎	〃	機械工学演習シリーズ 1: 演習水力学	〃
街のイメージ構造	志水 英樹	〃	基礎電気回路 1・2 有馬 泉(等)	〃
建築物の遮音性能基準と設計指針		〃	燃烧工学 水谷 幸夫	〃
	日本建築学会(編)	〃	制御回路つき自動化機構300選	〃
化学標準問題と解説 全改訂版	荒木 綱男(等)	〃	熊谷 卓(編)日刊 工業	〃
現場技術者のための土圧・基礎設計算法と実例	福岡 正己	近代 図書	X線マイクロアナライザ 内山 郁(等)	〃
現場技術者のための続土圧・土留設計算法と実例	福岡 正己	近代 図書	産業用ロボットの技術	〃
現場技術者のための3集土圧・土留設計算法と実例	福岡 正己	近代 図書	測定技術一技能と訓練一 浜本 達保	〃
現場技術者のための仮締切工の設計算法と施工法	福岡 正己	近代 図書	IC論理回路設計の基礎 西野 聰	〃
		〃	プレス加工データブック	〃
		〃	超塑性と金属加工技術 超塑性研究会(編)	〃
		〃	射出成形用金型 白石順一郎	〃
		〃	エンジニアのための英文手紙の書き方	〃
		〃	田中 達夫 工学 図書	〃
		〃	小堀 与一	〃

有限要素法による構造解析プログラム
 小堀 為雄 丸 善
 ギャラガー有限要素解析 川井 忠彦 ♪
 測量学 2. 応用編 ♪
 電子・通信・電気工学基礎講座 ♪
 9: 電子工学基礎論 ♪
 材料力学 上・下 鶴戸口英善(等) 裳 華 房 ♪
 川口 雄一 ♪
 コンクリートの品質管理入門 尾坂 芳夫 彰 国 社 ♪
 宮川 英二 ♪
 風土と建築 歴史的風土の保存 太田博太郎 ♪
 非線形連続体の有限要素法1. 山田 嘉昭 培 風 館 ♪
 コンピュータによるマトリックス構造解析法 ジェンキンス,W.M ♪
 応用計測通論 高木 相 啓 学 出版 ♪
 電子回路入門講座 1~4 ♪
 プレストレストコンクリート構造学 藤井 学 国民科学社 ♪
 長谷川 堯 新 建 築 社 ♪
 電子工学概論 倉石源三郎 東京電機大学出版 ♪
 半導体デバイスの基礎 ヤン,E.,S マグロウヒル好学社 ♪
 機械加工、びびり現象 星 鉄太郎 工業調査会 ♪
 建築図学 佐藤 平(等) 理工学社 ♪
 古代日本のすまい 玉腰 芳夫 ナカニシヤ出版 ♪
 シーケンス制御入門 増補 電気書院編集部 ♪
 井口 昌平 東京大学出版会 ♪
 白井晟一研究3. 南洋堂 ♪
 ダム総覧1980 日本ダム協会 ♪
 水理学 岩佐 義朗 市ヶ谷出版会 ♪
 土質基礎工学ライブラリー 10: 日本の特殊土 土質工学会 ♪
 現場アルミニウム合金鋳物 ヴェ・エム・レベデフ(等) 新日本鑄造協会 ♪
 住宅建築設計例集 建築資料研究社 ♪
 6: 住宅の開口部詳細 ♪
 新編 材料力学ノート 松田 弘 日本理工出版会 ♪
 水資源を考える 山崎不二夫 三 共 出版 ♪
 アナログ/デジタル・フィルタ 加川 幸雄 科学技術出版社 ♪
 ヒートパイプ Dunn, P. D 学 献 社 ♪
 シリーズ新しい応用の数学 教育出版 ♪
 20: スプライン関数とその応用 ♪
 燃焼 熊谷清一郎 岩 波 ♪
 材料力学を考える 津村 利光 実 教 出版 ♪
 戦後建築論ノート 布野 修司 相 模 書 房 ♪
 明解 内燃機関名称図 伊藤 茂(等) 海 文 堂 ♪
 わかり易い機械講座一材料の強さ 明 現 社 ♪
 技術者のための統計解析 改訂増補 中村 慶一 山 海 堂 ♪
 谷口 修 養 賢 堂 ♪
 計測通論 ♪
 超LSI 入門シリーズ1・2 倉田 衛(等) 近代科学社 ♪
 設計のための材料力学 福田 秀雄 廣 川 書 店 ♪

摩擦の基礎 渡辺 彬 パワー社 ♪
 キャビテーションの話 鬼頭 史城 オーム社 ♪
 S I の使い方 竹中 俊夫 ♪
 工業計測 眞島・青木・安部 コロナ社 ♪
 砂防入門 池谷 浩 山海堂 ♪
 港湾ノート 野口 孝 理工図書 ♪
 コンピュータ構造力学演習 塚本 正文 ♪
 道路橋示方書 同解説1. 共通編2. 鋼橋編 丸 善 ♪
 1. 共通編3. コンクリート橋編 丸 善 ♪
 5. 耐震設計編 ♪
 昭和53年制定プレストレストコンクリート標準示方書 土木学会 ♪
 工業材料規格便覧セメントコンクリート 1977年版 朝 倉 倉 ♪
 住まいの歴史読本 前 久夫 東京美術 ♪
 あぶない無リン洗剤 日本消費者連盟(編) 三一書房 ♪
 太陽エネルギー 押田 勇雄 日本放送出版 ♪

>6 産 業<

暮らしの瀬戸内海 角田 直一 筑 摩 ♪
 国土の調査手法 西村 蹊二(編) 山海堂 ♪
 日本の庭園史話 森 繭 ♪
 チーズのきた道 嶋田文三郎 河 出 書 房 ♪
 交通革新 谷藤 正三 森 北 出版 ♪

>7 芸 術<

日本古寺美術全集 11: 石山寺と近江の古寺 集 英 社 ♪
 原色浮世絵大百科事典 4. 大 修 館 ♪
 世界の巨匠シリーズ UTRILLO 美 術 出 版 ♪
 写真集 原爆をみつめる 飯島 宗一 岩 波 ♪
 わたくしの中国 アーノルド・イブ 小 学 館 ♪
 原色浮世絵大百科事典 6: 作品1師宣一春信 大 修 館 ♪
 This fabulous Australia Baglin, D Hornsby ♪
 最新名曲解説全集 音 楽 之 友 社 ♪
 補巻1: 交響曲・管弦楽曲・協奏曲 ♪
 補巻2: 室内楽曲・独奏曲 ♪
 補巻3: 歌劇・声楽曲 ♪
 おもしろいタングラムあそび ♪

サムロイド サムロイド 東京図書 ♪
 サムロイドのおもしろパズル ♪
 サムロイドのユーモアパズル ♪
 全開バリバリ 横 浜 銀 蠅 ♪
 アメリカ野球ちょっといい話 エンジェル 集 英 社 ♪
 生命果てる日まで 金森美弥子 講 談 社 ♪

>8 語 学<

日本語源辞典 村石 利夫 日 本 文 芸 社 ♪

>9 文 学<

宮澤賢治研究 1. 2. 筑 摩 ♪

好色一代男	井原 西鶴	中央公論社	遠い島	小松 左京	文芸春秋
吉里吉里人	井上ひさし	新潮社	野望の標的	広瀬 仁紀	〃
渡辺淳一作品集 15：神々の夕映え	渡辺 淳一	文芸春秋	霊長類ヒト科動物図鑑	向田 邦子	〃
しぐさの日本文化	多田道太郎	筑摩	ヘルメス落ちてくる地獄	ジョン・バクスター	角 川
もっと遠くノ	開高 健	朝日新聞社	男の美学	立原 正秋	〃
もっと広くノ	〃	〃	父と子の炎	小林 久三	〃
オーパノ	〃	集英社	クレヨンノ夏	内田 栄一	三一書房
イサカ 小さな町のアメリカン	下山ちづ子	講談社	棄てられた四万三千人	三田 英彬	〃
新潮現代文学		新潮社	日本の島々、昔と今	有吉佐和子	集英社
62：甘い蜜の部屋、恋人たちの森	森 茉莉		冷えた銅塊 上・下	佐木 隆三	〃
アレクシスーあるいは空しい戦いについてー	ユールスナル、M	白水社	海鳴りの丘	ジル・ベイトン	岩 波
太郎物語 大学編	曾野 綾子	新潮社	アリスの国の殺人	辻 真先	大和書房
華麗なる一族 上・中・下	山崎 豊子	〃	百人一首の秘密	林 直道	青木書房
不毛地帯 1～4	〃	〃	風華の街	田中 光二	〃
光る壁画	吉村 昭	〃	中国歴史の旅	陳 舜臣	東方書店
愛の影は長く	芹沢光治良	〃	虚空の影落つ	西村 寿行	徳間書店
夕暮れに苜を植えて	足立 卷一	〃	捜査線上のアリア	森村 誠一	〃
空白の天気図	柳田 邦男	〃	戦艦大和の建造	御田 重宝	現代史出版
冬の鷹	吉村 昭	〃	7つの謎と奇跡	久保田八郎	主婦の友社
一瞬の夏 上・下	沢木耕太郎	〃	人間万事塞翁が丙午	青島 幸男	〃
青い光	大岡 昇平	〃	エッセイ集 三禁四乱	野坂 昭如	実業之日本社
白夜 朝霧の章	渡辺 淳一	中央公論社	エーリアン殺人事件	栗本 薫	〃
眩人	松本 清張	〃	キュービックの午後	佐々木美枝	エイトビート
江は流れず 上・下	陣 舜臣	〃	情況	吉本 隆明	河出書房
幕臣列伝	綱淵 謙錠	〃	油断	堺屋 太一	日本経済新聞社
マイ・ロスト・シティー	フィッツジェラルド	〃	岩波新書		
ひとびとの聲音 上・下	司馬遼太郎	〃	173：ブルトニウムの恐怖	高木仁三郎	
炎の色	近藤啓太郎	〃	174：納税者の権利	北野 弘久	
みちのくの人形たち	深沢 七郎	〃	175：ことばと国家	田中 克彦	
真紅のセラティア	津本 陽	〃	176：汚職の構造	室伏 哲郎	
イザベラね	田中小実昌	〃	177：動物の体はどのようにしてできるか	岡田 節人	
癌病船	西村 寿行	講談社	178：満鉄	原田 勝正	
いつの日か驢馬に乗って	高橋三千綱	〃	179：子どもとことば	岡本 夏木	
ダイヤモンドは傷つかない	三石由起子	〃	181：英和辞典うらおもて	忍足欣四郎	
旅する前に	大高 雅博	〃	181：分子遺伝学入門	石川 辰夫	
二人だけの島	畑山 博	〃	182：経済学とは何だろうか	佐和 隆光	
天才のプライバシー	ゲルハルト・プラウゼ	〃	183：虫歯はどうしてできるか	浜田 茂幸	
			184：原爆に夫を奪われて	神田三亀男	

カラーブックス

2：桂離宮	16：世界の動物	34：金魚
3：犬ーその銘柄ー	18：暮しのいけばな	36：スイスの山
4：切花 200種	20：宝石	38：東京昔と今
5：サボテン	21：浮世絵	41：近代絵画
6：皇居	24：小庭園	42：万葉のふるさと
7：熱帯魚	25：庭木	46：木の花・木の実
8：東海道昔と今	27：ミツバチの世界	48：世界の国旗
10：日本の郷土玩具	28：京の名庭	49：日本の人形
12：国宝絵巻	31：北アルプス	50：日本の切手I
13：パリ	32：高山植物	53：源氏物語絵巻
15：奈良	33：高野山	55：四季のいけばな花材

57: 城	144: カラー歳時記 草花	218: コーヒー入門
60: 現代絵画	145: 暮しの色彩	220: 木曾路
64: 世界の切手	146: 神話のふるさと	221: 俳画入門
65: 日本の鉄道	147: 版画入門	222: 日本のコイン
67: 飼い鳥	148: 京都ガイド	223: 川釣り
71: やきもの風土記	150: 日本の魚	224: カラー歳時記 野草
72: 歌舞伎	152: 蒸気機関車	225: 続 京の味
73: エジプト美術	153: 庭づくり	226: 香港・マカオ・台湾の旅
76: 洋らん	154: 洋酒入門	227: 嵯峨野大覚寺
78: 世界のきもの	156: 季節の料理	228: やきもの入門
79: 武蔵野	157: 日本の貝	230: 天理と山の辺の道
80: 香水	158: 四国遍路	232: きもの着付け
81: 熱帯性海水魚	159: 錦鯉	233: アイデアレター
83: 抽象絵画	160: 東京の味Ⅰ	234: 近江路
84: 日本の祭	161: 京都の年中行事	236: 竹とさき
88: 奥の細道	162: 日本画入門	238: 薬になる植物
89: 自動車Ⅰ	163: 奈良の年中行事	239: 竹久夢二
90: アメリカの旅	165: 愛玩犬	240: 鉢植園芸
91: 水石	168: ハワイガイド	242: むいぐるみ
92: 世界のコイン	169: 北斎富嶽36景	243: 吉備路
93: 新しい庭	170: 皇居新宮殿	244: 勲章
94: 京都文学散歩	171: 人形劇入門	245: 新しい日本の鉄道
95: 盆栽	174: 海への動物	247: 北海道の旅
97: 万葉の植物	175: 刀剣	249: 国東と臼杵
99: 家庭園芸Ⅰ	176: ドライフラワー	250: 星と星座
100: 新しい宝石	177: 染色入門	253: 歌磨
101: 海釣り	178: 山陰	254: 萩・長門路
104: 能	179: グッピーの魅力	255: 書道入門
105: 平家物語	180: 法隆寺	256: なつかしの蒸気機関車
107: 家庭園芸Ⅱ	182: こけし	257: 民芸の旅
109: 飛行機	183: 名画に見るキリスト	258: ふるさとの味
111: 仏像	184: 佐保路の寺	259: 骨董入門
112: きもの	185: 県花県木	261: 木彫り入門
113: 京の寺	188: 室生路の寺	262: 戦国の城
115: 京の味	189: 自動車Ⅱ	263: 日本の画家
116: 詩歌のふるさと	191: 飛鳥路の寺	264: 路面電車
117: フラワーデザイン	192: おもと入門	265: ふるさとの味—近畿—
119: 茶道入門	194: 絵画に見る日本の美女	266: 日本酒入門
120: 奈良の寺	195: 飛弾高山	267: 東京の寺
121: サボテン園芸	196: 花ことば	268: 果実酒入門
122: 大和路の石仏	197: 漢方薬入門	269: イラスト入門
123: 日本の名菓	198: おりがみ	270: 日本の画家—近代洋画—
125: ペット	199: 紙の手芸	271: 東山の道
126: テーブルマナー	200: 薬師寺、唐招提寺	273: 東京の味Ⅱ
127: 世界のミニカー	201: 日本の蝶、世界の蝶	274: 大原への道
128: 新しい熱帯魚	202: クラシックカー	277: 家庭菜園
130: 武蔵野の石仏	203: いけばな歳時記	278: 飛鳥と難波
132: ばら	204: 興福寺	279: 伊万里
134: 食べられる野草	206: 墨画入門	280: ワインと料理
136: 鎌倉の寺	207: 人相学入門	281: 嵯峨高雄
138: 巡礼の寺	208: 東大寺	282: 日本のかるた
139: 油絵入門	209: 大和路 文学散歩	283: そばちょこ
140: 名画に見る世界の裸婦	212: 古墳	284: つばき入門
141: カラー歳時記 花木	214: インテリア	285: 古瀬戸
142: 小住宅	216: 日本の切手Ⅱ	286: 日本の家紋
143: 大阪の味	217: さつき入門	287: 千代紙型染紙

- 290: やきものの旅
 291: おりがみⅡ
 292: 庭木づくり
 293: 万葉大和の旅
 294: 現代の工芸
 295: 小品盆栽
 297: レディーのノート
 298: 神戸の味
 299: 庭の木Ⅰ
 300: 雲の表情
 301: 手づくり人形
 302: 狂言
 303: タロット入門
 304: 俳句歳時記植物(秋)
 306: 伏見・宇治
 307: 庭の木Ⅱ
 308: 日本の服飾
 309: たばこ
 310: 俳句歳時記植物(冬)
 311: 手づくり遊び
 312: 備前
 313: 星と花の手芸
 314: 古塔巡礼
 315: 徳利と盃
 316: 紙人形
 317: 俳句歳時記植物(春)
 318: 結婚式のマナー
 319: 陶芸入門
 320: 中国料理入門
 321: さつき盆栽
 323: 山菜入門
 324: キャンピング
 326: 山草入門
 327: 美濃
 328: 俳句歳時記植物(夏)
 329: 京焼
 333: 菊づくり
 334: 続 俳画入門
 335: 洛中
 336: 魚拓
 338: 文楽
 339: おりがみ
 340: 凧づくり
 342: 唐津
 343: 蕎麦
 344: 鍛と兜
 345: 続 日本の家紋
 346: 小皿豆皿
 347: 続 大阪の味
 348: あねさま人形
 349: えびね
 351: 小住宅の庭
 353: 東京歴史散策
 354: 続 山菜入門
 355: 松柏盆栽
 356: 水彩画
- 357: 拓本入門
 358: 花菖蒲
 359: ベランダ園芸
 360: 考古学入門
 361: 鎌倉歴史散策
 362: 花もの盆栽
 363: 禅
 365: ぐいのみ
 366: 横浜の味
 369: 茶碗のみかたⅠ
 370: 大阪歴史散策
 372: 東洋らん
 375: 益子
 376: 煎茶入門
 377: 名古屋の味
 378: 手づくりの贈り物
 379: アラブ世界
- 381: 俳句歳時記生活(春夏)
 382: 歌舞伎のみかた
 383: 万葉の花
 384: 壺入門
 385: 寄席
 386: 郷土玩具の旅(東)
 387: 溪流釣り
 388: 信楽 伊賀
 389: 馬 その生涯
 390: 硬筆入門
 391: カラー歳時記 魚
 392: 郷土玩具の旅(西)
 393: スケッチ入門
 394: 川柳入門
 395: ワイン入門
 396: 日本の電車
 397: 帰化植物
 398: 手づくり・インテリア
 399: 高山の花
 400: 棟方志功
 401: 草花遊び
 402: 名庭のみかた
 403: 伊勢路
 404: 東京の味Ⅲ
 405: 手相入門
 406: 自動車Ⅲ
 407: キリシタンの里
 408: 茶席の花
 409: 組みひも
 410: 世界の鉄道
 411: 日本のミニカー
 412: いけばな花材Ⅱ
 413: 茶碗のみかたⅡ
 414: 海の釣り魚
 415: 神戸異人館
 416: トランプ
 417: 相撲
 418: 礼法入門
- 419: 熊野路
 420: 紅茶入門
 421: 薩摩
 422: 日本の民具
 423: つけもの
 424: 埴輪
 425: 小型洋らん
 426: 庭木の管理
 427: 洋酒入門Ⅱ
 428: ヨット
 429: 地酒
 430: 飛行機Ⅱ
 431: 地岡のみかた
 432: 陶磁用語辞典
 433: 木の実・草の実
 434: 富士の自然
 435: くだもの
 436: 博多の味
 437: 土鈴(どれい)
 438: 模型飛行機
 439: みちのく
 440: 珍本古書
 441: 動くおもちゃ作り
 442: 池田満寿夫
 443: 筑紫路
 444: ねこ
 445: 越前
 446: 食虫植物
 447: 風景画入門
 448: 秘湯の旅
 449: 京の和菓子
 450: 地球の科学
 451: 丹波
 452: 雑木盆栽
 453: 大和歴史散策①
 一山の辺、飛鳥一
 454: 洋らんづくり
 455: 仏像のみかた
 456: ぼたん、しゃくやく
 457: 日向薩摩路
 458: ばらづくり
 459: 萩
 460: 家庭園芸 12ヵ月
 461: 門と堀
 462: 人物画入門
 463: 日本の特急列車
 464: 天体観測入門
 465: 九谷
 466: 大和歴史散策
 一斑鳩、葛城一
 467: 丹後若狭路
 468: 小住宅の間どり
 469: きりえ入門
 470: 野外救急法
 471: 秘境の旅
 472: 野鳥の観察

- 473:顕微鏡下の世界
 474:創作おりがみ
 475:冠婚葬祭①
 結婚のすべて
 476:地震の科学
 477:俳句歳時記動物(秋冬)
 478:山手線各駅停車
 479:オリエンテーリング
 480:冠婚葬祭②
 葬儀と供養
 481:横浜歴史散策
 482:井原西鶴
 483:ブルートレイン
 484:冠婚葬祭③
 歳事と交際
 485:民窯
 486:水墨画入門
 487:俳句歳時記動物(春夏)
 488:大和歴史散策③
 一奈良・生駒一
 489:日本の私鉄①
 近鉄
 490:絵馬
 491:世界のミニカーⅡ
 492:庭木の病虫害
 493:離島の旅
 494:豆盆栽
 495:かな書き入門
 496:野辺の花一春夏編一
 497:私の味覚散歩
 498:花木の管理12ヵ月
 499:かがく遊び
 500:宝石のみかた
 501:採集と標本
 502:梅百科
 503:磯釣り
 504:染織紀行
 505:趣味の茶料理
 506:日本の私鉄②
 西武
- 507:大和歴史散策④
 一吉野・十津川一
 508:インド紀行
 509:木の名・草の名
 510:野辺の花一秋冬編一
 511:ギリシア神話
 512:日本の私鉄③
 阪急
 513:草花の病害虫
 514:色絵染付
 515:薬草入門
 516:茶道用語辞典
 一床飾り・炭道具一
 517:名古屋歴史散策
 518:百人一首
 519:星座の伝説
 520:京洛花ごよみ
 521:日本の私鉄④
 名鉄
 522:静物画入門
 523:旅客機
 524:洋種山草
 524:洋種山草
 525:神戸歴史散策
 526:茶道用語辞典②
 一点前道具一
 527:健康食入門
 528:なつかしい城下町
 529:能面
 530:日本の私鉄⑤
 小田急
 531:野菜果樹
 532:帆船
 533:電気機関車
 534:写真入門
 535:酒の肴
 536:沖繩
 再発見の旅
 537:栄養手帖
- 538:日本の私鉄⑥
 営団地下鉄
 539:文化財のみかた
 540:民謡のふるさと
 一北海道・東北一
 541:日本の私鉄⑦
 京阪
 542:乾電池あそび
 543:茶道用語辞典③
 一茶席・茶事一
 544:日本の私鉄⑧
 東急
 545:猪口(ちよく)
 546:健康体操
 547:日本の私鉄⑨
 南海
 548:療養温泉
 549:あやとり入門
 550:日本の私鉄⑩
 東武
 551:火山
 552:大阪文学散歩
 553:日本の私鉄⑪
 京王帝都
 554:イラスト教室
 555:動物の観察
 556:国鉄の電車
 557:秩父三十四ヵ所
 558:円空仏
 559:日本の私鉄⑫
 阪神
 560:健康手帖①
 高血圧生活と食事
 561:自動車Ⅳ
 562:日本の私鉄⑬
 相模鉄道
 563:カクテル入門
 564:武蔵野歴史散策

